



35 3 | 1 おすすめ 3

印刷

特効薬はオシッコ、列車と動物衝突防止に活用 鳥取

関連トピックス 台風

エサを求めて人里に下りてきたシカやイノシシなどの野生動物と、列車が衝突する事故が相次いでいる。事故防止に鉄道会社は頭を悩ませるが、特効薬は見つからない。そんな中、JR西日本は動物の習性を利用して新たな取り組みを始めた。カギを握るのはオオカミのオシッコだ。

9月25日夜、因美線の智頭—因幡社間を走行していた岡山発鳥取行きの特急スーパーいなばが、線路内に侵入してきたシカをはねて緊急停車。運転士が安全を確認するまで止まり、終点の鳥取駅には定刻より15分ほど遅れて到着した。

JR西日本米子支社によると、鳥取、島根両県の管内で、こうした動物と列車の衝突事故は2008年度39件、09年度38件だったが、10年度は115件に急増。今年度も9月末までに44件に上っている。その中でも、山あいを走る同区間でイノシシやシカとの衝突事故が最も多いという。

衝突事故が起きると、運転士は列車を止め、線路に降りて車体に損傷がないか、動物の様子はどうかを確認する。異常がなければ、おおむね10分程度で運転を再開できるが、動物が線路内に残っていると、線路脇に移動させなくてはならず、発車時間が遅れる場合がある。

昨年10月9日、島根県内の三江線で、列車がイノシシをはねた際には、線路に横たわったイノシシを移動させるのに手間取り、運転再開まで164分かかった。また、衝突で列車のブレーキが故障することもあるという。

同支社は相手が動物だけに有効な手だてがなく頭を悩ませていたが、動物の習性に目を付けた新たな対策に乗り出した。その習性は、野生動物が自分の縄張りにオシッコの臭いを付けて、自分の存在を知らせる「マーキング」。天敵のオオカミのオシッコを入れた容器を線路脇に置くことで、シカやイノシシが恐れて近づかなくなるのでは、という作戦だ。

同支社では、外国で商品化されているオオカミのオシッコを使用。8月末から、智頭—因幡社間の一部、約100メートルの間に計14個の容器を試験的に設置し、効果を確かめている。今月初めにイノシシと列車が衝突する事故が起きたが、約2カ月の間で事故はこの1件だけ。同支社鳥取鉄道部の山本日出生工務科長も「結果は上々。1件の事故も、9月の台風でオシッコが容器からもれ、臭いが薄まったためかもしれない」と話す。

今後は容器の設置場所やオシッコの取り換え期間を確かめながら、実験を続けるという。同支社広報は「効果が確認されれば、管内の他の地域にも普及させたい」と話している。(宋潤敏)

こんな記事も

レコメンドシステムによる自動選択

航空ニュース [ブルートレインを朝日新聞記事で振り返る](#) [〈Astand〉思ひ出鉄道館](#) [鉄道のページ](#)
[〈Astand〉思ひ出鉄道館](#) [アーカイブ](#)

おすすめリンク



〈BOOK〉全国美味駅弁 決定版 [著]小林しのぶ

駅弁女王として知られる著者の集大成！今までに食べた駅弁5000個から選び抜いた555個を紹介



〈BOOK〉秘境駅

鉄道でしか到達できない駅「秘境駅」を捜し求めて全国をめぐる牛山隆信氏による、秘境駅の写真集



〈DVD〉「関口知宏の中国鉄道大紀行」シリーズ

関口知宏が中国の鉄道を一筆書きの最長ルートで巡るNHKの紀行番組

航空ニュース [〈BOOK〉地球の歩き方シリーズ](#) [〈ショッピング〉健康グッズでリラックス](#) [〈アウトドア用品〉今週のランキング](#)
[〈コラム〉こだわり店長に聞く](#)

鉄道

[JR大阪駅北側にリニア新駅誘致を検討](#) 知事・市長 (1/11)

[吉都線100周年、沿線5市町がタッグ](#) 宮崎 (1/11)

[JR・東武・西武の川越3駅に一体化案](#) 埼玉 (1/11)